



愛と復興

只見

議会だより

- 人工透析患者や家族を支援 … 2
- 12月会議終わる …………… 4
- 議会報告会開く …………… 6
- 一般質問・10名が町政をたずね … 13

発行：只見町議会広報広聴常任委員会
 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30
 TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222
 E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp



只見町議会中継は、只見町議会
 ホームページからも視聴できます
 ←議会中継へ

こぶし苑、二人で206歳の餅つき
 (11ページに説明を掲載)

全 員 協 議 会

12月は2度全員協議会が開催されました。議会機能と議員定数の問題など7項目が上程されましたが、29年7月の豪雨災害で流出した布沢の農道橋などの協議が長引き一部が次の会議に持ち越しとなりました。協議された3項目についてお知らせします。

12/12・21 直面する課題

早期結論とスピード対応求める



人工透析患者の支援

1月～送迎バス運行

人工透析を受ける患者さんは現在、近くは田島の県立南会津病院など町外の病院へ通院されている。送り迎えの家族の負担軽減など、通院支援について、議会総務厚生常任委員会は町当局に更なる対

策を求めてきた。

当初町当局は、対応が難しいとしていたが、21日の全員協議会で「送迎バス運行案」を示し、議会は了承、早期の開始を求めた。

次回以降の協議項目

- ・ 議会機能と議員定数について
- ・ 平成31年度実施計画について



県立南会津病院

事業スケジュール案(予定)



道の駅建設

運営母体育成急務



議会と町当局で行なった道の駅視察(あ・ら・伊達な道の駅 宮城県)



「道の駅」は、交流人口を滞留させる重要な拠点となる。町では国道289号「八十里越」の開通を控え町の役場内プロジェクトチームで「道の駅基本構想」が積み上げられてきた。今回その概要が議会全員協議会に示され、今後の見通しなども含め議論が交わされた。

まず、運営に当たる人材の確保・育成が急務となる。なお、基本構想で示された今後のスケジュールは、概ね左記のとおり。



集落の営農上大切な役割を果たしている「川和久橋」



布沢農道橋の復旧

集落対応に限界あり

平成29年7月に起こった7.18豪雨災害で一部流失した布沢「川和久農道橋」については、今だ未復旧の状況にある。

町は8年前の百年に一度とされた「新潟・

福島豪雨災害」以来、災害で被災した集落の農業用施設などは集落区長にその発注を要請し復旧が行なわれてきた。

この日の会議では、橋の架橋や関係機関との協議まで集落が負うことに疑問が投げかけられ、町行政の関わりが問題視された。当局は、災害発生時から今までの経過、現状、今後の方針などを説明したが、各議員からは、住民に寄り添う姿勢やここに至った「原因と責任をはっきりすべきだ」などの厳しい意見が相次ぎ長時間に渡り議論が紛糾した。

町長は今後集落の意向を踏まえて事業を推進すると共に、災害復旧の在り方を見直すことを明らかにした。(5頁参照)

12月 会議



アスベスト対策を指摘

昭和35年の落成から60年が経過する旧役場庁舎

旧庁舎解体

12月会議が開催されました。(第1回11日から17日、第2回21日)平成30年度一般会計補正予算の他7つの特別会計補正予算などを審議。一部反対討論も出されましたが提案されたすべての議案を可決しました。一般会計補正予算には、旧役場庁舎の解体費用、布沢集落農道橋の復旧予算などが含まれます。

役場庁舎の暫定移転は町下庁舎の外構工事などを進行中であるが、併せて旧役場庁舎の解体工事も残っている。12月会議では旧役場庁舎の解体費用1億1324万円の予算が提案され可決したが、アスベスト対策費

今夏完了予定

が盛り込まれていない点を指摘した。旧庁舎にアスベスト使用の可能性が否めないため、調査の上、アスベスト対策費を改めて提案の予定。

意見書採択

12月会議で国への意見書が提案され、全会一致で採択された。

◆介護保険制度の見直しを求める要望意見書

一般会計(第7号、8号)補正予算主要内容

(歳入)	
プロフェッショナル経営体創出事業補助金(県)	705万円
公共施設等再生整備基金繰入金	1億円
住宅整備事業などに充てる町債	3430万円
(歳出)	
旧役場庁舎解体費	1億1324万円
産地パワーアップ事業補助金	493万円
プロフェッショナル経営体創出事業補助金	705万円
観光開発審議会委員報酬	25万円
小中学校などエアコン設置設計委託料	1031万円
29年発生災害復旧事業補助金	1894万円
公用車購入費	439万円

区民の心の負担は大きい

災害復旧

布沢農道橋 復旧予算可決

安全対策に町の支援要請

全員協議会での話し合いを経て、布沢集落農道橋の復旧予算が12月第2回会議に上程され、起立採決の結果、賛成多数で可決した。審議では、あくまでも集落橋であるので町は関わらないとする町長の姿勢に対して、今後の復旧に当たっては、技術的支援など町行政の関わりの必要性を議会は強く要請した。今後復旧まで議会は監視する。

本会議賛否状況

酒井 右一	×
佐藤 孝義	○
鈴木 征	○
目黒 道人	○
大塚純一郎	○
中野 大徳	○
目黒 仁也	○
藤田 力	○
鈴木 好行	○
山岸 国夫	○

討論

- 反対** 酒井右一 議員……補助金扱いのルールがなくここに至った結果責任も不明確。なお且つ安全性が担保されないものに議員として賛成できない。
- 賛成** 大塚純一郎 議員……住民を困らせることはできない。今後区に寄り添い柔軟に対応していくという答弁もあった。議会は住民の立場で今後監視する。当局と議会の信頼関係で賛成する。

こんな質問がありました

明和振興センター耐震工事

問 再開までのスケジュールは？

答 1階部分は12月27日に完成。2階は2月下旬から使用予定。

旧役場庁舎解体費

1億1324万円

問 アスベスト対策は？

答 想定していなかった。今後調査して対応していく。

年度内に発注し、夏頃完了したい。

障害者福祉費 75万円

問 就労継続支援B型からA型へ移行した理由は？

答 雇用契約による就労になるため。

プロフェッショナル経営体創出事業補助金

705万円

問 申請は、法人か個人か、また補助率は？

答 農家1軒、国補助3割

観光開発審議会報酬(道の駅) 25万円

問 審議会委員の人数は？

答 各委員の構成等は今後協議していく。町内外問わず検討したい。

湯ら里改修設計委託料 200万円

問 今後の客室利用は？

答 一階にシングル個室を3室増やしたい。その内、1室調理スタッフ用としたい。

小中学校・奥会津学習センター エアコン設置設計委託料

問 設計委託は必要か？

答 経済性も考慮する。国の補助事業の関係もある。6月に完了したい。

条例

県人事委員会 勧告による 給与等の条例改正

県人事委員会勧告による議員、町長、教育長、職員の給与等を定めた条例の改正案が提案され、賛成多数で可決した。

反対討論 山岸国夫議員 町民に還元すべきだという理由で職員以外の条例改正に反対する。

がほしい!

議会 報告会

10:00~只見

- ・企業人材の確保策を
- ・子育て支援の充実を

- シルバー人材センターを利用して子育て教育に
- 小学校統合問題はPTA、町、議会、地域全体で考えるべき
- 議員のなり手不足が心配、議員報酬等の見直しも含めた対策を

- 只見の自然環境を活かした子どもの遊び場を
- 民間企業の先行きが心配、企業の健全化を持続できるまちづくりを
- 子どもの健康づくりに欠かせない事業は継続してほしい



只見振興センター

11月11日、町内三地区において議会報告会を行いました。三地区共に「自然を活かした子どもの遊び場がほしい」との声がありました。

13:00~朝日

- ・危険空き家対策を
- ・子ども教室ありがたい



親子で楽しく子育て広場

- 診療所の赤字経営が心配、対策を
- 働きながら子どもを見てもらえる子ども教室ありがたい。
- 昔遊んだ山や川で子どもを遊ばせられる環境づくりを
- 只見線復旧に併せ、踏切等の安全設備の設置を
- 危険空き家が増えている。早急な対策を
- 小学校に新しい授業が増えた分、楽しみにしている行事が減っている。

子どもの遊び場

15:30~明和

- ・小規模高齢者農家への支援策を
- ・高齢者の買い物支援対策を

- 町内の子どもにはリフト券無料化を
- 夏の子どもの遊び場がない。河川環境整備を
- 小規模農家・高齢者農業に支援策を
- 町長・町職員は夢を持った積極的な政策提案を

- 移住者に対する補助制度のPRが足りない。心配りのある行政を
- 買い物支援バスの継続を望む
- 「峠」映画化に沿った積極的な観光PRを
- スキー場に幼児の休憩所、遊び場を



只見小学校スキー教室

陳情

買い物支援バス緊急要望(明和)

弱者に寄り添った支援求める



齋藤議長に要望書を手渡す明和自治振興会会長

1月21日明和地区住民13名が買い物支援バスの運行を求める緊急要望書を約800名の住民署名とともに齋藤議長に手渡した。
この5カ年は、福島県やアサヒホールディングスの支援で継続してきたが、地元自治体の支援を改めて求め、利用者代表の菅家甲作さんが必要性を訴えた。

800名の
住民署名

陳情内容	陳情者	審議結果
黒沢前沢林道復旧についての陳情	黒谷区長 原田岩夫	採択 立ち枯れの木の放置は災害時の被害増幅や鳥獣被害の拡大が予想され早期復旧が必要。
階段昇降機の設置に関する陳情	長浜区長 赤塚保夫	継続 (その後、1月15日に長浜区長より取り下げ申請があった。)



今年リニューアルオープン予定の青少年旅行村

指定 管理者

青少年旅行村

公募に2者応募

賛成多数で「振興公社」に

町の観光施設は、ほとんどが「指定管理者制度」が採用され、町直営でなく民営により運営が行なわれています。31年度から今後5カ年の指定管理者を決める大切な議案審議が2度の本会議で行なわれました。

高額者を選ぶ理由は

従来、青少年旅行村・いこいの森の管理運営は第三セクター会社である会津ただみ振興公社が担ってきたが、今回の公募で新たに只見町森林組合が名乗りを上げ2者競争となった。町は審査の結果を踏まえ従来の振興公社を指定管理者とする議案を提案した。しかし、森林組合は請負額が安いことや企画提案の魅力などから審議が紛糾。途中休議をはじめ協議が行なわれたが、一旦議案は取り下げ、改めて詳細な

説明を受けて結論を出すこととなった。その後開催された12月会議で再度審議が行なわれ、町長は、リニューアルオープンに備え万全の体制で臨みたいとした。無記名投票で採決が行なわれた結果、

賛成多数で原案を可決し、引き続き会津ただみ振興公社を指定管理者に決定した。

ただみ養魚場

ただみ養魚場の指定管理者は、錦鯉のおぬまに決定した。

本会議賛否状況

賛成	7名
反対	3名
無記名投票による	

※第三セクターとは、地方公共団体と民間企業との共同投資によって設立された事業体。



今後農家民泊の受け入れも

こんな質問がありました

青少年旅行村

問 新年度からスノーピークへのロイヤリティ10%が5年間続くと経営への影響も心配されるが？

答 1年単位の契約と考えている。

問 森林組合には魅力的な企画があるが？

答 評価は審査会でも良かった。人員配置に多少の不安がある。

問 提示金額は、森林組合の方が約100万円安価だが？

答 今後調整する。契約額は当初予算で審議いただきたい。

ただみ養魚場

問 水産業の振興発展は重要だ。応募者1者をどの様に分析しているか？

答 23年災後の水環境の変化や需要の減少などに苦慮している。

問 水産業の振興発展を今後5カ年の中で取り組んでいたきたいが？

答 重要な資源であり、振興に町も協力していく。

問 建物の老朽化。サギやイタチの被害もある。観光面からも対策を検討すべきだ？

答 被害の訴えは聞いている。町として手当はしていきたい。

特別委員会

朝日診療所の調査は終決 湯ら里の調査は3月まで継続

交流施設に係る調査特別委員会

湯ら里設置の目的や経緯などを調査してきた。11月14日にはJTB商事から小輪瀬博子氏を招き只見町を取り巻く旅行環境に関する調査として講演いただいた。レジャーの価値観が多様化しており、かつてのような団体旅行は見込めなくなってきた。八十里越の開通、只見線の復旧に期待をしたいものの、只見はどうしても交通の便が悪いため、旅の目的地となり得るテーマを打ち出すことが重要と認識を深めた。なお、当特別委員会は3月会議まで調査を継続することとした。



JTB商事から小輪瀬博子氏を招いての講演



診療所若山所長からの説明

国保朝日診療所に係る調査特別委員会

議決された報告書の内容(概要)...

- ①運営健全化計画を進めるため、権限と責任を持った「職」を配置すべき。
- ②看護師の確保など、一步踏み込んだ圧倒的な解決方法を講ずるべき。
- ③診療所の医療範囲は更に拡大する。保健医療に将来の方針を持ってあたるべき。
- ④国道289号「八十里越」開通による救急医療体制の変化に万全を期すべき。
- ⑤総合診療専門機関として広く啓発広報し、将来の明るい展望を町民に示すべき。

委員会 レポート

総務厚生常任委員会

人工透析患者 通院を送迎で支援

週3回バスで送迎

人工透析患者への補助として、町は最寄りの病院までの燃料代を助成しているが、冬期間の通院に難儀されて

いる。病院側との協議も含め早急な検討を求めた。

その結果1月より公用車により週3回、南会津病院まで送迎することに決定した。

訪問リハビリ スタッフの充実を

職員の退職や体調不良でやむを得ず一時休止となった、こぶし苑の訪問リハビリについての協議。当面、施設内リハビリとする。スタッフの充実が重要である。

議会機能と議員定数

委員会で議員定数やアンケートについての提案があったが「全員で議論すべし」との意見により全員協議会で話し合うことに決めた。



人工透析患者の送迎が始まっている

経済文教常任委員会

黒谷前沢林道は 早期の復旧が必要



寸断されている黒谷前沢林道

立ち枯れ木の放置は 被害拡大の恐れ

11月会議において付託を受けた「黒谷前沢林道復旧についての陳情」は早期の復旧作業が必要と判断した。なお、本林道に限らず、未復旧路線の実態を調査し、年次計画を立て、順次整備復旧工事を進められたい。

集落の災害復旧 当局の対応を協議

10月の委員会において、平成29年7月豪雨災害で被災した集落の災害復旧事業に対する当局の対応策を協議すると共に、町補助金要望についての報告を受けた。

道の駅構想などを協議

11月の委員会では、各所管課から12月補正予算の事業説明を受けた。道の駅基本構想や次年度以降の亀岡スポーツパーク構想の方向性などについて当局と協議した。

広報広聴常任委員会

議会報告会、あなたのご参加をお待ちしております

より伝わる報告会の
在り方を試行錯誤

今年度の議会報告会は11月11日に開催した。毎回、多くの町民にご参加いただけるよう心を砕いて開催している。これまでは平日夜に3地区で開催してきたが、平日であったためかあまり芳しくない来場者数であった。今年度は新たな取り組みとして日曜日にまとめて開催することとし、午前は只見地区、午後は朝日地区と明和地区のスケジュールで

実施した。

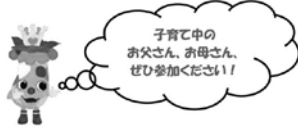
また、チラシを作り町内の各団体へ送付し、各議員も町民へ配布する告知も行った。結果、昨年度よりも多くの方にご来場いただくことができた。しかし、それでもまだまだ空席が目立つ感は否めず、来年度はさらに多くの町民にご参加いただけるよう取り組んでいく。

11月11日(日)
議会報告会を行います!

テーマ
「若者定住、子育てしやすい
まちづくり」

午前10時00分～ 只見振興センター
午後1時00分～ 朝日振興センター
午後3時30分～ 小林公民館

都合のいい会場にお越しください!



主催 只見町議会
問い合わせ 議会事務局 電話 82-5300

みんなで配ったチラシ

南会津地方環境衛生組合議会

有害鳥獣の 処分施設を視察



南会津地方環境衛生組合議会行政視察

11月6日～7日に東部クリーンセンターの一般廃棄物最終処分業務委託先のジークライ株式会社(山形県米沢市)と南会津郡内のイノシシ捕獲後の処理検討のため相馬方衛生組合有害鳥獣焼却場(相馬市)を視察。

この有害鳥獣焼却場は、猟友会が捕らえた有害鳥獣を当該施設で冷凍保存し、処分頭数(120kg/1回)がまとまった時点で随時焼却処分。保管冷凍庫はイノシシに付着するダニ・ノミから作業員の安全対策として殺虫装置を備えている。

表紙の写真

二人合わせて
206歳の餅つき



昨年の暮れに、恒例のこぶし苑餅つき大会が開催され、利用者の方が代わる代わる餅をついて楽しんでいらつしやるところを取材しました。最後に若林セツさん(103歳 大倉・写真左)と佐藤キミエさん(103歳 大倉・写真右)の合わせて206歳コンビに仕上げてください、おいしいお餅が出来上がりました。



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol. 18



アカシヨウちゃん

『全員協議会』ってなあに?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

みんなに代わって只見町のキャラクターたちが聞いてくれました。



ブナりん 全員協議会って、どんな会なの?

議長 議会議員の全員が集合し、提出予定案件その他について、協議または調整するために開かれる会議だよ。



アカシヨウちゃん どんな時に開くの?

議長 意見調整が必要な時、いつでも開くことができるよ。

イワっぺ 本会議とはどう違うの?

議長 本会議の質問回数が3回までと決まっているけど、全員協議会は納得がいくまで何回でも質問できるんだよ。

ブナりん 誰が招集するの?

議長 議長が招集するんだよ。必要に応じて議会運営委員会に諮る場合もあるんだ。

アカシヨウちゃん 構成メンバーは?

議長 議員全員だよ。必要に応じて町長や関係課長も出席するよ。

イワっぺ 最近も開いたの?



議長 12月に2回開いたんだけど、結構大変だったんだよ。詳しくは、2、3ページを見てね!



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページからも
視聴できます。





一般質問

- **大塚純一郎** 14
町長が目指す将来の只見町とは
- **目黒 仁也** 15
少子化対策最重視で予算編成を
- **佐藤 孝義** 16
外国人研修生に対する町の対応は
- **藤田 力** 17
雪んこタクシー土日祝日の運行は
- **鈴木 好行** 18
外国人研修生の住宅政策は
- **目黒 道人** 19
叶津番所は町で取得し管理すべき
- **酒井 右一** 20
克雪対策事業補助金要綱の改正は
- **中野 大徳** 21
医療、介護職員の安定的な確保を
- **山岸 国夫** 22
国保税18歳未満の均等割免除を
- **鈴木 征** 23
克雪対策制度の見直しを

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針をただしたり政策の提言などを行うことです。

町政を問う

町を想い10名が

町長が目指す 将来の只見町とは

答 人口 5,000人を目指したい



おおつかじゅんいちろう
大塚純一郎議員

問

町長の任期前半2年が過ぎ、後半に入ろうとしているが、町長の目指す将来の只見町の姿が一向に見えてこない。「一度立ち止まって、見直して協議したい。」石橋をたたいて慎重に渡ることは必要な判断だと思いが、後ろ向きになったり、渡らなかつたりするのはいかなものか。今の只見町の置かれている状況では立ち止まっている暇はない。町民の思い、気持ちに寄り添いながら、町民の求める政策

答

の実現に邁進することが必要だ。具体的な考えを問う。

私が目指す将来の只見町は、先人から受け継がれてきた自然、文化、歴史を育みつつ、地域資源を交流人口の拡大と地域経済の発展に結びつけながら、持続可能な形で次世代に引き継いでいける、安心して暮らせるまちづくりを目指していきたい。今後JR只見線の全面再開や、国道289号八十里越の開通など劇的に変化を迎える時期が迫っており、交流人口の拡大や産業振興など多岐にわたる効果が期待されることから、拠点となる道の駅の整備や、湯ら里の改修など進めていきたい。

問

私は具体的な町長の目指す将来の只見町の姿、目標を

答

聞いている。UITターンなどによる若者定住、移住定住政策の展開により町の人口5,000人を目指していきたい。

問

ユネスコエコパーク登録の町として、他の市町村との差別化が求められる。只見町の自然環境を際立たせることで近隣町村との違いを打ち

シルバー人材センターの 設立目的は

答 生きがいの充実と地域に活力を

出すことが必要と考える。シルバー人材センターの設立にあたり、どのような政策展開を図っていけるのか。

地域の高齢者が長年培った知識、技能、経験を生かして、豊かで積極的な社会参加による生きがいを充実すると共に、地域に活力を生み出すことを目的とした。

答

地域の高齢者が長年培った知



県が観覧席を設置した亀岡農村公園

少子化対策最重視で予算編成を

答 充分踏まえていく

問 新たな子ども子育て支援制度が始まっている。新年度の健やか発育・発達支援事業の方針は。

答 過去3カ年は地方創生推進交付金を財源に実施してきたが、4年目となる本年度からは自走できるよう一部事業を見直し取り組んでいく。

問 もともと5カ年計画で始まった事業だ。新年度の予算方針は、現状維持か、拡大か、縮減か。

答 先進的の事業として始まっている。効果的に効率的に進めるよう現在保健福祉課と協議しながら予算を検討している最中だ。

問 新年度の予算編成は枠配分方式でいくと聞いた。今国が進める人口減対策などは枠にとらわれずむしろ強化していくべきではないか。

答 枠配分方式で試行的に始める。スクラップ&ビルドなど各課の自主性を尊重したい。しかし、長が特に推進する事業は別途協議査定があるものと考えている。

問 31年度の予算編成に当たっては、少子化対策・子育て支援最重視で予算編成に当たっていただきたい。

答 意見十分踏まえていく。

クラブハウス整備の検討結果は

答 現管理棟の補修を行なう

問 亀岡スポーツパークのクラブハウス整備については、9月会議で「一旦立ち止まり事業の内容規模を見直す」と答弁されている。その後の検討経過と新年度以降の事業方針は。

答 管理棟の有効活用が最適であると結論に至った。屋根補修、水回りの補修で更なる利用促進を図っていく。なお、現在3課に分かれている亀岡サッカー場などの施設管理については、来年度から統合し業務委託する検討を行なっている。

問 施設管理体制は31年度から考えていいのかが。

答 そのスケジュールで考えている。



議員 黒 仁 也 目 ぐる じん や

答 この3年間は窓口が2つ、現場の困惑もあった。今後一つに統一すべく検討



只見中学校授業風景

外国人研修生に対する町の対応は



議員 高橋 孝義
さとう たかよし

答 企業と連携し検討していく

問

現在まで国の外国人技能実習制に基づき、各企業が外国人研修生を受け入れてきたと思うが、その場合、町には法令等の手続はあるのか現況を問う。

答

出入国管理法に基づいた国の手続により中長期滞在資格が認められた方が対象であり、基本的に3カ月超の在留期間が長い方については外国人登録が必要であり、3カ月以内の短期滞在者は、町の手続は必要ない。

問

今後の入管難民法などの改正に伴い、当町でも外国人研修生の増加が予想されるが、トラブルや犯罪防止のため、自治体としてのルール作りを検討しているかを問う。

答

町としては、実習生だけでなく、永住者や配偶者などの方もおられ、個人情報などの関係もあり大変難しい問題と認識しており、企業と連携しながら検討していく。

問

外国人が早く只見町にとけ込み、快適に生活してもらうために、イベントや地域活動への参加、言葉、文化、習慣等の一定の教育政策が必要と考えるが、町長の考えを問う。

答

教育政策については、町内の複数企業において実習生を受け入れており、地

域住民との交流を深めるため、住民へのあいさつのほか、地区行事やイベント等への積極的な参加など、受け入れ企業を中心となって対応している。今後、法改正や企業の増設の動き等により町内で働く実習生の増加も見込まれることから、誘致企業等との協議の場なども有効に活用し、情報交換を行ないながら、必要な対応を検討していく。



南会津町に建設中の町誘致企業

雪んこタクシー 土日祝日の運行は

答 雇用の面から導入困難

問 町で実施したアンケートの中で土日祝日の運行を求め声が多い。それに運行時間を19時までという声が多い。

答 土日祝日の運行については雇用関係から導入が困難のため、新たに平日を含めて町内国道沿線に停

留所を設けた只見駅〜会津田島間の定時路線運行の導入を検討している。

問 アンケートの中には、料金が現状の500円、他の町村はもっと安いことや低所得者に配慮をといった意見も多い。どう答えるのか。

答 現行制度が複雑で分かりにくいことから定額低料金制の導入を検討している。

問 J R只見線の復旧を見据え、J R只見線との連結を考えた運行をすべきと思うがどうか。

答 只見駅と会津田島駅のダイヤも見据えた利便性も高い定時定路線運行の導入を検討している。

問 只見町タクシー運行委員会は、どのようなメンバーか。

答 事務局は商工会で構成メンバーは町職員、商工会役員、関係機関、専門家、県連の職員。

問 町として公共交通の考え方から、一般利用者の代表2名参加させて欲しいと考えるが。

答 必要と思う。検討するよう商工会事務局に伝える。

只見駅イベント広場を 急ぎ整備を

答 来年度拡張や周辺の整地を予定



いつも活気がほしい JR 只見駅前

問 今年の秋、若者が広場を借りてのイベントが大変盛り上がった。またJ R臨時列車快速只見新緑満喫号などの時も賑わった。駅前には何も無いとの声の中で、こうした若者の取り組みを町は応援すべきと思う。さらに簡易舗装、水道、排水、電気など急ぎ整備して欲しい。

答 イベントに利用され所期の成果を挙げている。今後も利用促進に取り組みたい。

い。来年度、拡張や周辺の整地に取り組みたい。簡易舗装は周辺の道路計画なども勘案しながら検討する。

問 これだけの賑わいを与えて外來の観光客を楽しませる、私は貴重だと思ふ。いつまでに整備するか答弁を。

答 駅前商店街と併せながら県の道路改良が進められていく。どのような形が良いか検討したい。

ちから 議員 力
た 田 藤
ふじ

外国人研修生の住宅政策は

答 企業向け住宅補助制度を検討中



鈴木好行 議員

問

入管難民法の改正により、増加が見込まれる外国人研修生の住居について、新たな政策はあるか。

答

企業が社宅等を新築したり、空き家を改修する場合の新たな支援制度を検討している。

問

外国人研修生の集落での日常生活において、町としてどのような対応策を考えているか。

答

現在は地域住民との交流を深めるため、受け入れ企業を中心となって対応し



町内誘致企業で働く外国人研修生

ているが、今後実習生の増加が見込めるため、企業と情報交換を行ないながら対応について検討する。

問

町民に対して理解を求める施策はあるか。

答

企業等と連携しながら検討する。

問

外国人研修生の相談窓口はどこか、また、研修生とのトラブルが発生したときに住民が相談するにはどこに行けばよいのか。

答

実習制度の中で管理団体と相談することになる。その窓口として観光商工課が担当する。住民が相談する場合は、振興センターが窓口となる。

問

外国人研修生が母国に帰るときに観光ふるさと大使等に任命して、当町の観光政策に協力していただいてはどうか。

答

本人の意向があれば、協力してほしいと考えている。

行政情報の積極的な公開は

答 可能な限り伝えている

問

町広報誌での情報発信において、行政施策面の情報が、どのようになっているか。

答

町の施策や有益な情報を可能な限りお知らせしているが、限られた紙面の中

で全てを伝えることが難しい。今後も町民のニーズを捉え、より良い情報発信ができるように努める。

問

住民の意見を反映させて実施した政策は何か、代表例を示せ。

答

全国ブナ林フォーラム、町政施行60周年記念事業においては、実行委員会等において、町民の意見を反映させていた

叶津番所は町で 取得し管理すべき

答所有者と協議を進める

問 町内には戊辰戦争の史跡が複数あるが、それらについて町の関わり方を伺う。

答 町内史跡16ヶ所に標柱を設置し、史跡巡りツアーを企画、講演会を企画し観光誘客へ向けて事業を進めてきた。これらの史跡は本町の有する

地域の宝であり、次世代に語り継ぐべき誇れる歴史でもあるため、学校教育や只見学に盛り込むなど大人から子どもまで学びの機会を作っていく。

問 これら史跡は地域の宝ではあるが、個人の所有物である。保護についてどう

考えているか。

答 町指定の史跡は町が管理しているが、16ヶ所の史跡については個人所有のため各個人に管理をお願いしている。

問 叶津番所については町で取得し、維持管理すべきと思うがどうか。

答 所有者の方と教育委員会で協議中である。

問 「峠」映画化に際し、劇中で使用された衣装や小道具を譲り受けて河井記念館に展示してはどうか。

答 製作会社と連絡を取り協議したい。



旧長谷部家住宅（叶津番所）

答 事業提案できるようなチームにしていきたい。町民向けにプロジェクトチームの成果を発表できるような機会を考えたい。

問 道の駅基本構想にも関わっていると伺ったが、どの程度の関わっているのか。

答 大部分に関わっておりプロジェクトチームでの議論が反映されたものとなっている。

問 道の駅構想は過去に何度も立ち上がっては頓挫を繰り返している。今度こそ道の駅を作る意気込みを伺う。

答 J R只見線の全線復旧と八十里越の開通も迫っている。今度こそ頓挫させることなく進めていく。



め ぐろ みち と
目黒道 人議員

プロジェクトチームの 進捗は

答 道の駅構想に反映させた

問 良い取り組みだと思うが、活動がよく見えてこない。定住ガイドブックもプロジェクトチームで作られた。もっとアピールしてはどうか。

答 フェイスブックでの発信に力を入れていくようだが、今後の取り組みは。炎上対策のルール作りなどもしながら進めている。今後は更新頻度を上げていきたい。

克雪対策事業補助金 要綱の改正は



さか い ゆう いち
酒井右一議員

答 31年4月に施行したい

問

人口の将来予測に大きな不安がある。高齢化に伴い、雪対策に対する不安が顕著だ。この補助金の実績と効果はどうか。

答

昨年度までの6年間で、
・屋根改良が235件
・危険屋根改良が76件
・住宅消雪設備が44件
・非住家屋根改良が5件
360件、6年間で総額が9,638万円の事業を実施した。屋根雪下ろしの軽減と落下防止、落雪防止と雪処理の軽減など効果が

問

住宅の消雪設備事業の利用が12%と極端に少ない。制度に問題があるのではないか。

答

屋根改良は事業費の2分の1（上限額が30万、また特例で50万）。消雪施設は上限が20万円、特例は30万円という事で補助金が少ないことも原因の一つ。

問

制度改正が必要ではないか。

答

4月に長浜区長から除雪困難世帯の解消の陳情が議会にあった。町内には同じような状況にある世帯が480世帯ある。改正は緊急を要するがこの冬に間に合うのか。

制度の継続と改正に向けて検討している。年度の区切りがある。新年度からとしたい。

あった。

住宅の消雪設備事業の利用が12%と極端に少ない。制度に問題があるのではないか。

答

屋根改良は事業費の2分の1（上限額が30万、また特例で50万）。消雪施設は上限が20万円、特例は30万円という事で補助金が少ないことも原因の一つ。

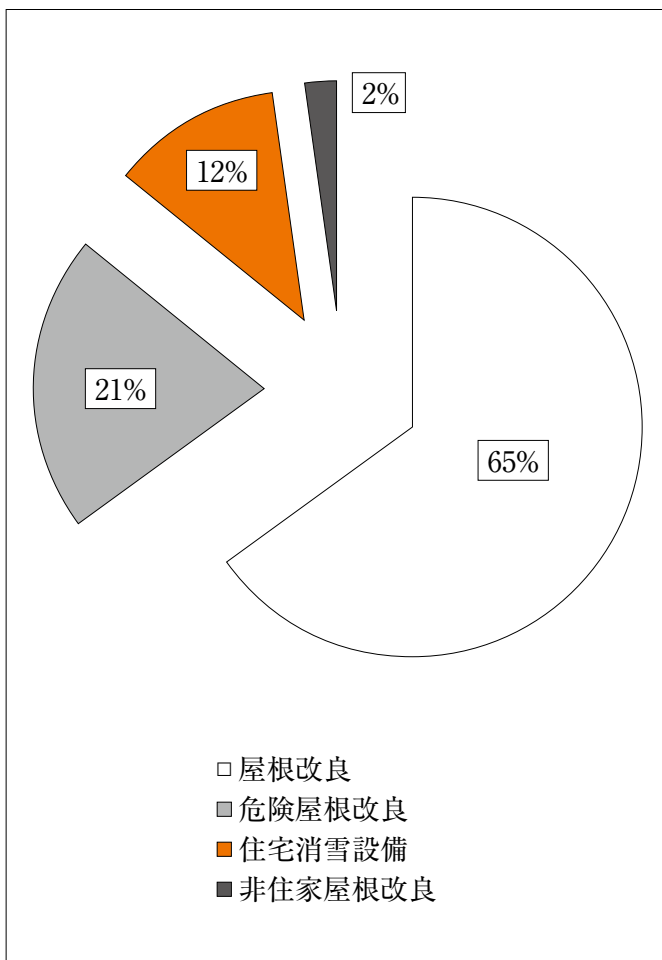
問

制度改正が必要ではないか。

答

4月に長浜区長から除雪困難世帯の解消の陳情が議会にあった。町内には同じような状況にある世帯が480世帯ある。改正は緊急を要するがこの冬に間に合うのか。

制度の継続と改正に向けて検討している。年度の区切りがある。新年度からとしたい。



問

長浜区から、この4月に克雪対策の陳情が出ている。町長は8月の議会答弁で、この制度を改正し、実情に合わせた判断をした。議会は町長の判断を了承し、この制度改正を前提に陳情に対処（不採択）した。今12月、雪は毎年降る。今まで何をしていたのか。

答

直近の委員会で報告できるような準備を進めているところだ。

問

克雪対策に年度区分などない。この制度改正はいつ施行されるのか。税金の使途は公平・公正でなければならぬ。

答

31年4月に施行したい。

●他に上下水道事業の将来の見通しについて質問した。

医療、介護職員の安定的な確保を

答 情報を共有し職員確保に努める

問 町民が健康で豊かな生活をする

ためには、地域医療の充実や介護サービスの安定的な供給が必要不可欠だと考える。人口減少と少子高齢化社会の中で、診療所や介護サービス安定のための具体策は。また、医療、介護スタッフを維持・確保できなければ町民に不安と負担をかわせ

る事となるが、町長の考えを問う。

答 医局について

は、医師4、看護師14、看護補助3、放射線技師1、医療技師1（兼務）、歯科医師1、歯科衛生士2、歯科助手2名を配置し運営している。診療所については、スタッフ全体の年齢構成も考慮しつつ、今後の退職予

定者の補充に関して診療所と協議しながら対応を検討している。介護施設のかぶし苑、只見ホーム、あさくさ

ホームについても、運営主体の南会津会がスタッフの確保に苦慮している。こぶし苑においては、作業療法士の中途退職により、本年度から実施している訪問リハビリの休止や、

通所・入居者のリハビリ回数減など利用者に不便をかけている状況だ。診療所や介護事業所等と情報を共有しながら必要なスタッフの確保に努めていく。

問

今日の医療関係の職員確保は官民間わず厳しい状況にある。確保は困難を

極めて、看護師、理学、

作業療法士など、只見町の保健・医療を支える人材確保は深刻な状況にある。町でできる事を、「先見の明」をもって対応して頂きたい。

答

あさくさホームについては、貯金がゼロという事で、全て町が補填せざるを得ない状況にある。基金が底をついた時、設置町村にある福祉施設は設置町村で負担していかなければならない方向も予想され、只見町の場合どういったふうにしていったらいいか、今後の将来を見通しながら対応していきたい。

なかのたかのり 議員 中野大徳



介護人材の充実を

国保税18歳未満の均等割免除を



やまぎしくに お 議員
山岸国夫

答 ここだけ抽出はむずかしい

問 国民健康保険税が、協会けんぽなどの被用者保険と比べて著しく高くなる大きな要因になっているのは、国民健康保険にしかない「均等割」「平等割」という保険税算定にある。「協会けんぽ」などの保険料は収入に保険料率をかけて計算するだけで家族の人数が保険料に影響することはない。

町の国民健康保険税の算出の内18歳未満の「均等割」を、子育て支援策の一環として免除することを求める。

また、平成30年度での国保加入者の内18歳未満の人数及び免除した場合の額は。

答 現段階では制度変更は考えていない。18歳未満の均等割対象者は33世帯、59人で、減免した場合の金額は139万5千円となる。

問 29年度末の国保会計の繰越額・国保基金への積立額・基金残額はいくらか。

答 繰越額1,447万円、積立額890万円、基金残額1億352万円である。

問 相馬市は今年から18歳未満の均等割を軽減、埼玉県ふじみ野市は住民の要望に応え第三子から軽減した。収入のない子どもに税金をかける均等割りの在り方は問題だ。町が条例を作れば可能である。基金を活用すればすぐにできる。

基金は国保加入者全体の事業で18歳未満の特定抽出は矛盾が出る。ここだけ抽出するのは難しい。

答 子育てしやすい只見町の発信を。健康診断・8020運動（80歳になっても20本の歯がある）・子どもの医療費無料化制度などは、国民の要望と一地方から始まり国の制度となってきた。歴史の一步となる施策をとる町長の覚悟は。

問 子育てしやすい只見町の発信を。健康診断・8020運動（80歳になっても20本の歯がある）・子どもの医療費無料化制度などは、国民の要望と一地方から始まり国の制度となってきた。歴史の一步となる施策をとる町長の覚悟は。

答 基金の活用は、今後国保税で負担がでてくれば平均化をはかる努力したい。制度は今後の検討課題の一つ。子ども全体の支援となることを考える。



子育てしやすい只見町の発信を

克雪対策制度の見直しを

答 現制度を見直し、強化・継続する

問 第七次振興計画が策定されて3年が経過する。「雪と暮らせる」まちづくりで計画した事業の達成状況は。

答 昨年7月の豪雨災害で災害復旧を優先せざるを得なく、雪対策など一部事業着手が遅れがあったことは否めない。高齢化の中で冬期孤立住宅

の新たな解消策が必要と考えている。なお、除雪オペレーターの担い手育成支援も急務だ。

問 今後の目標達成方針は。

答 雪を克服し住みやすい町へのニーズは増大する。道路整備と除雪体制の強化が必要。そのため財源確保が何よりも重要で、国・県への働き

かけを広域的に連携しながら対応したい。

問 既存事業の見直しも重要と考えるが。

答 平成24年度から開始した現在の克雪対策事業補助制度については、対象メニユーの追加や補助金の上乗せなど一部内容を見直し継続していく検討をしている。

問 庁内プロジェクトチームで検討してきた克雪対策を副町長に伺いたい。

答 年々住民の除雪負担が増大している。一軒家対策も除雪オペの不足で限界点にある。負担の軽減のため現制度間見直しや除雪オペの育成支援に力を入れ「町民のみな様が安心して暮らせる」町づくりを力を入れていく。



鈴木 征 議員



除雪オペレーターの育成が急がれる

役場暫定移転の見通しは

答 31年度でほぼ完了

問 役場庁舎暫定移転の進捗状況と今後の見通しを問う。

答 駅前庁舎は、屋根改修も年内には竣工検査の見込みで小規模修繕を残し年度内に終わる予定。町下庁舎は、3階会議室などの改修が残り現在外構整備を行なっている。なお、予算を願っているが、年度内に旧庁舎の解体工事を発注し来年8月までに完了させたい。町下庁舎1階の消防設備改修は、建築確認申請許可が出次第発注し繰り越す予定。来年度事業は、駅前庁舎は、場所は未定だが旧庁舎解体後公用車庫を新築、町下庁舎は、玄関の改修や屋根の雪庇対策を計画したい。それでほぼ完了となる。

役場庁舎暫定移転の進捗状況と今後の見通しを問う。駅前庁舎は、屋根改修も年内には竣工検査の見込みで小規模修繕を残し年度内に終わる予定。町下庁舎は、3階会議室などの改修が残り現在外構整備を行なっている。なお、予算を願っているが、年度内に旧庁舎の解体工事を発注し来年8月までに完了させたい。町下庁舎1階の消防設備改修は、建築確認申請許可が出次第発注し繰り越す予定。来年度事業は、駅前庁舎は、場所は未定だが旧庁舎解体後公用車庫を新築、町下庁舎は、玄関の改修や屋根の雪庇対策を計画したい。それでほぼ完了となる。

只見町をより良くするために

只見中学校 1年
伊藤 太久摩

この只見町をより良くするために、特産品をPRすることが必要だと思えます。主な方法として、ふるさと納税やイベントやメディアによるPRがあると思えます。その中でもふるさと納税を活用することは、特産品のPRと只見町の発展につながり、一石二鳥です。先日の「ヒルナンデス」という番組では、おにぎりの紹介をしていました。そのおにぎりの米は只見町産のお米でした。今後もPRを継続していくことで、さらに、只見町の特産品をみんなに知ってもらう機会が増えると思えます。

愛情あふれる只見の人達

只見小学校 6年
新國 蒼空

僕たちは、総合的な学習の時間に「自然」「雪」「観光」の三つのテーマに分かれて、これからの只見町について提案する学習を行ないました。その中で、現在の只見町の取組についての調べ学習を行ない、多くの方々にインタビューに協力していただきました。どの方にも僕たちに分かりやすいように熱心に答えていただきました。その時、只見町に住む人は、本当にこの町に対しての愛情がすごいなと感じました。僕も将来、只見町のよさをたくさん伝えられるすてきな大人になれたらいいなと思いました。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。どうぞございます。「平成」の年号もあとわずかとなりました。新年を迎え、飛躍の年としたいものです。

12月会議では今後の観光政策や、外国人研修生の増加に対する町の政策に対して、熱心な質疑が行なわれました。「八十里越」の全線開通に向けて「道の駅」の建設等、重要な課題が山積しています。議会も皆様の貴重な意見を伺い、町政に反映していきたいと考えています。ぜひとも皆様のご意見をお寄せください。

(鈴木 好行委員)

発行責任者

議長 齋藤 邦夫

広報広聴常任委員会

委員長 目黒 仁也

副委員長 目黒 道人

委員 藤田 力

大塚純一郎

山岸 国夫

鈴木 好行